

超短焦点プロジェクター用金具

本機を安全に設置していただくために、施工前に必ずお読みください

※表示内容を見逃して誤った取扱をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示の欄は傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

※お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です)



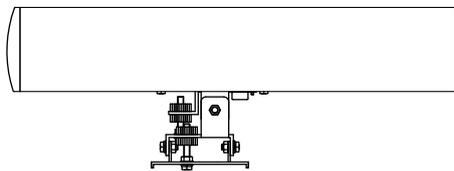
この記号は、してはいけない禁止事項を示しています。



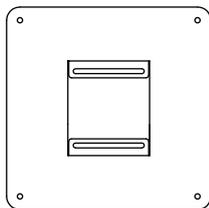
この記号は、必ず実行(守って)いただく事項を示しています。

 警告		取付場所の構造に最適な取付方法を選択し、施工してください。落下事故などの原因となります。
		十分な技術・技能を有した施工業者様が施工を実施してください。専門業者以外の方は施工しないでください。落下事故などの原因となります。
		コンクリート壁に取り付ける際には、金具とプロジェクターの重量に耐えられる適切な部品(ボルト等はM10)を使用してください。落下事故などの原因となります。
		表面の強度が低い壁に固定する場合は、適宜表面を補強した上で、アンカーボルトを内部のコンクリート面に打ち込んでください。落下事故などの原因となります。

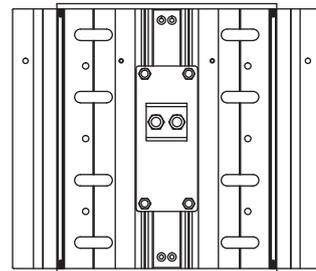
梱包部品一覧



■アーム金具



■プロジェクター取付金具
(プロジェクター取付用ネジ×4本)
※取付けるプロジェクターによって形状が異なります



■壁付けベース金具

- プロジェクター取付ネジセット
- ケーブル落下防止金具セット×2
- 六角セムスネジ(M6×15)×4本
- 六角セムスネジ(M5×8)×4本

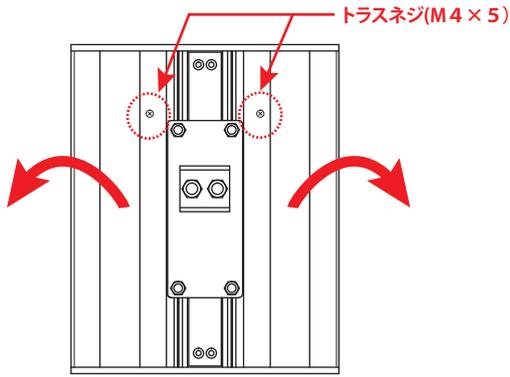


■プラスチックカバー 大3枚 小1枚

組立・取付方法

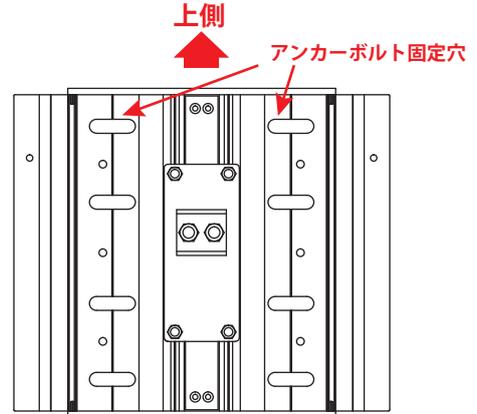
1. フタを開ける

トラスネジ(M4×5)を外しフタを開ける。



2. 壁付けベース金具を壁面に取り付ける

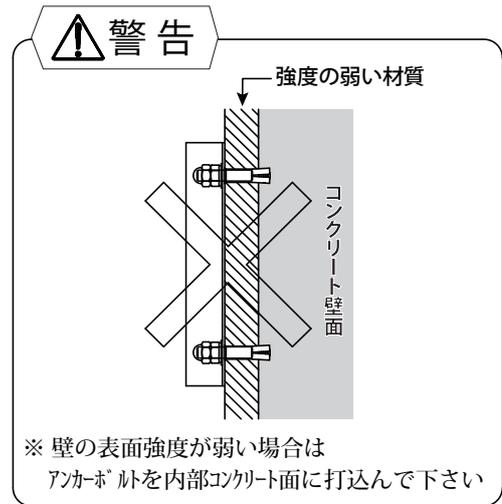
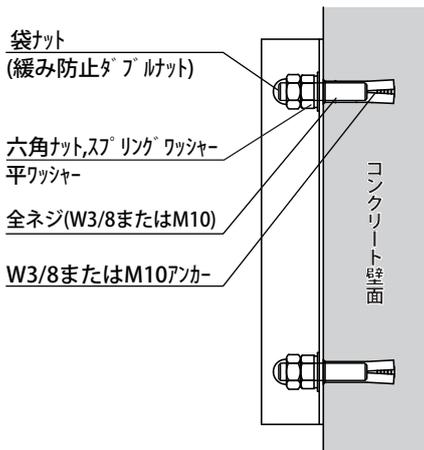
壁付けベース金具をアンカーボルト(M10×4本以上)でバランス良く取り付けて下さい。



※取付けボルトの固定方法

壁面コンクリートの場合

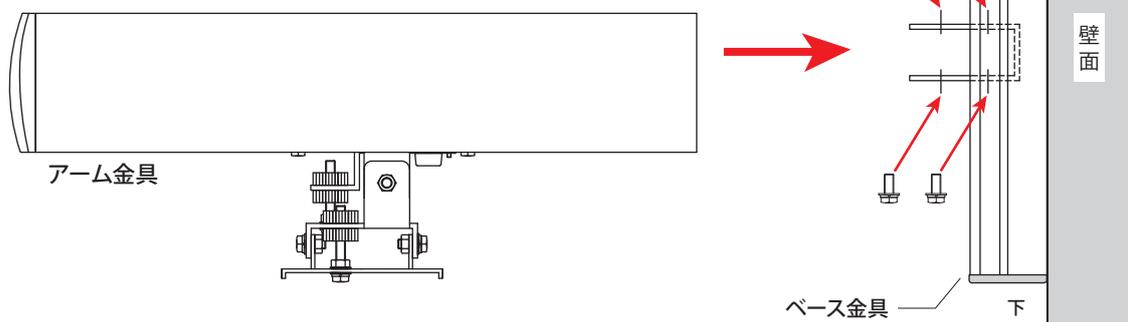
壁付けベース金具をW3/8またはM10アンカーボルト4点以上でバランス良く固定願います。
本製品は金具のみで約5.0kgありプロジェクターを取付けた時は約15.0kg位になります。
壁付け設置の際はアンカーボルト引抜き強度や取付け強度に十分ご注意ください。



3. アーム金具を取り付ける

壁付けベース金具が取付できたら、アーム金具を壁付けベース金具に取り付けます。
六角セムスネジ(M6×15)を4本で固定します。

※プロジェクターを取り付けた後に
上下の高さ調整を行ってください。

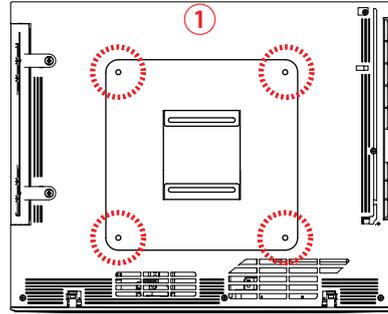
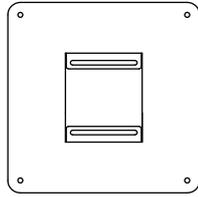


プロジェクター取付金具の取り付け

1. プロジェクターに取付金具を取り付ける

プロジェクターに、プロジェクター取付金具を右図の、①の4ヶ所に付属ネジを用いて取り付けます。
(プロジェクターのメーカーにより、取付金具は型が異なるものが準備されます)

プロジェクター取付金具

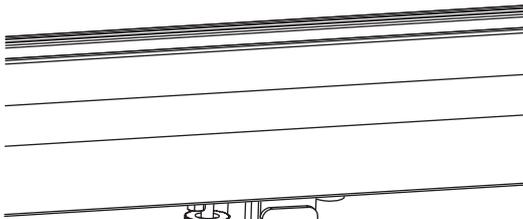


※図のプロジェクターはイメージで
実際の本体とは異なります。

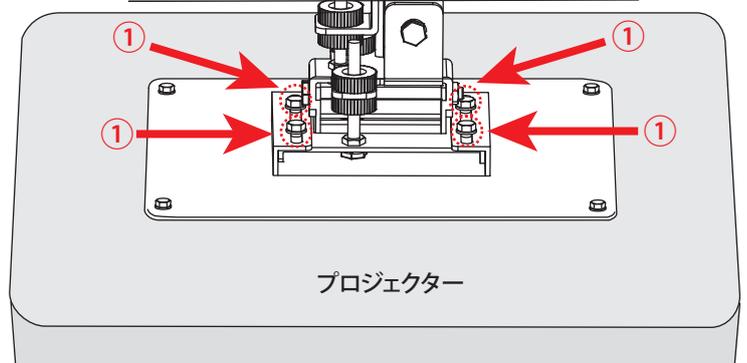
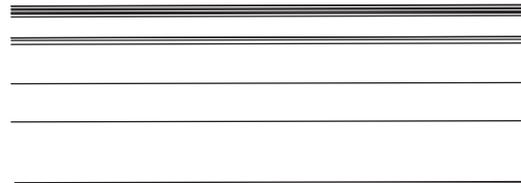
プロジェクターの取り付け

1. プロジェクターをマウント部に取り付ける

プロジェクター取付金具をマウント部分に適切な位置までスライドさせ、
①のように、六角セムスネジ(M5×8)で4箇所を固定します。



マウント部

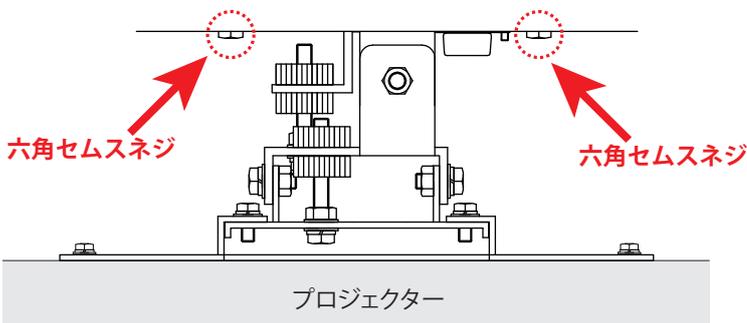


プロジェクター

プロジェクターの角度調整

1. アーム部の前後方向調整

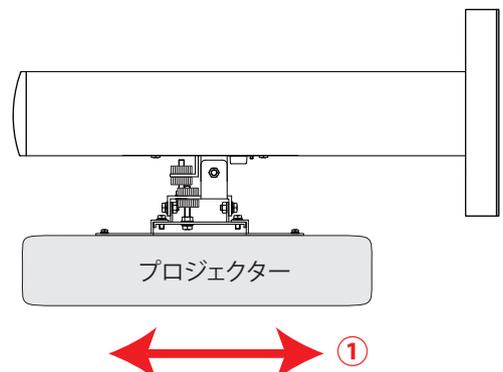
画面投影時、アーム部の前後方向の位置をアーム下側の
六角セムスネジを緩めて、①矢印方向に移動させて調整します。
位置が決まりましたら、六角セムスネジを締めて固定します。



六角セムスネジ

六角セムスネジ

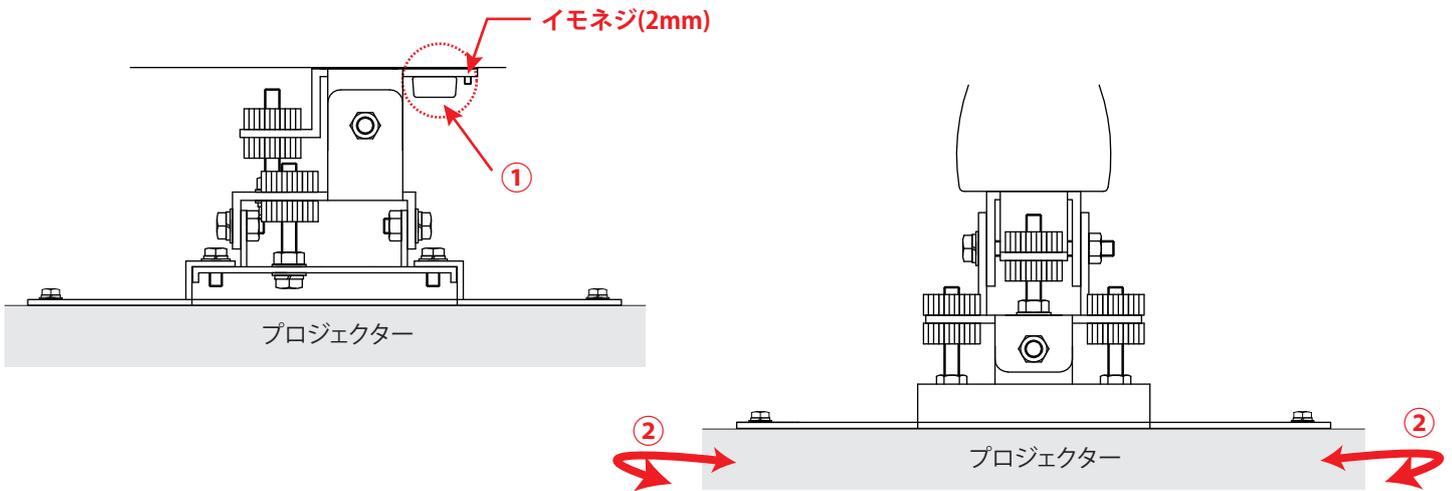
プロジェクター



プロジェクター

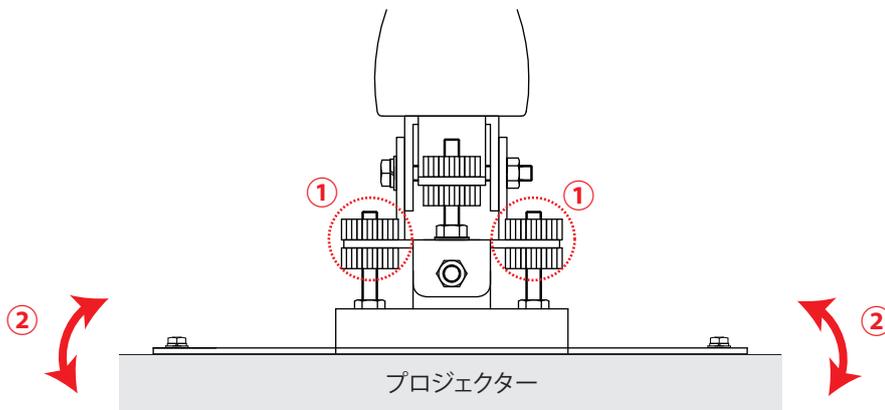
2. 横回転方向の調整

画面投影時、プロジェクター角度の横回転での調整を図の、①ユリヤネジ(後方1ヶ所)を緩めて、②矢印方向に回転させて調整します。位置が決まりましたら、ユリヤネジを締めて固定します。(さらに固定が必要な場合は、ユリヤネジ後ろのイモネジを締めて固定してください)



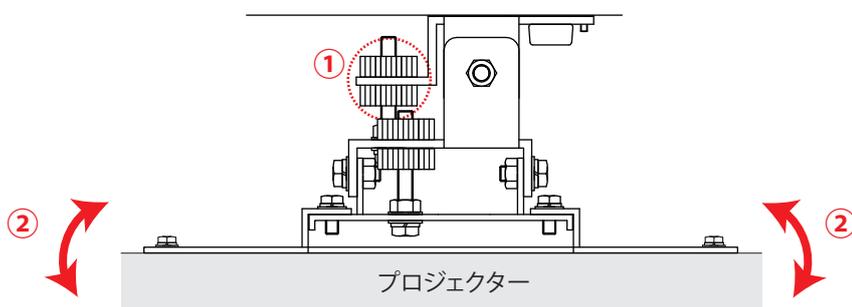
3. 左右傾き方向の調整

画面投影時、プロジェクター角度の左右傾きの調整を図の、①化粧ナットを緩めて、②矢印方向に傾斜させて調整します。位置が決まりましたら、化粧ナットで金具を挟み込むように固定してください。



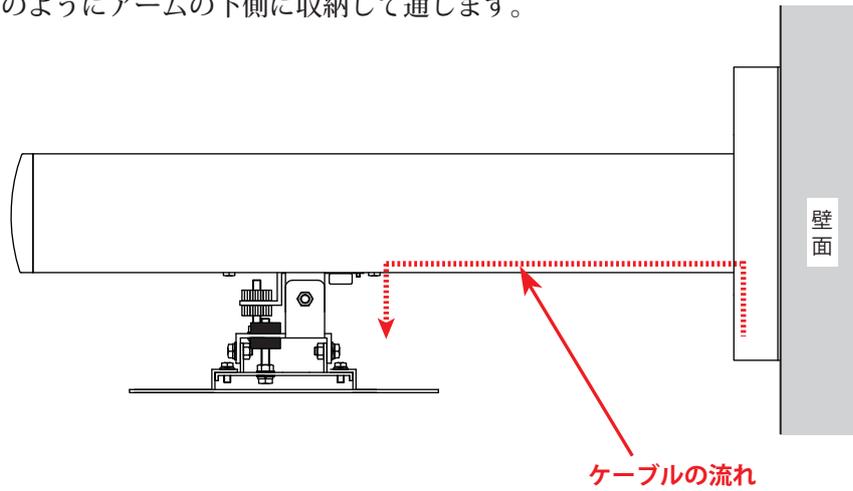
4. 前後傾き方向の調整

画面投影時、プロジェクター角度の前後傾きの調整を図の、①化粧ナットを緩めて、②矢印方向に傾斜させて調整します。位置が決まりましたら、化粧ナットを締めて固定します。化粧ナットで金具を挟み込むように固定してください。

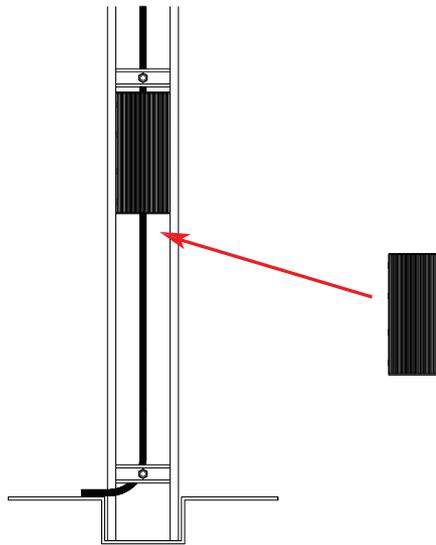


ケーブルの処理

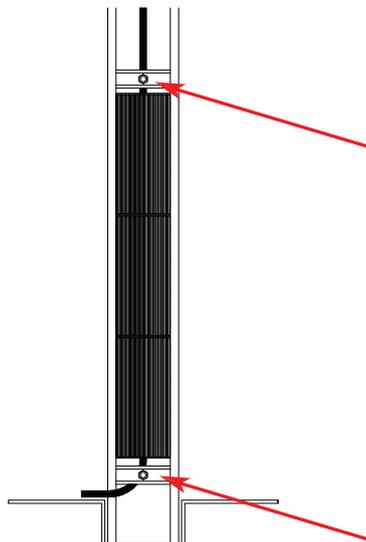
(1) ケーブルは下図のようにアームの下側に収納して通します。



(2) アームの下側にプラスチックカバーをはめてください。

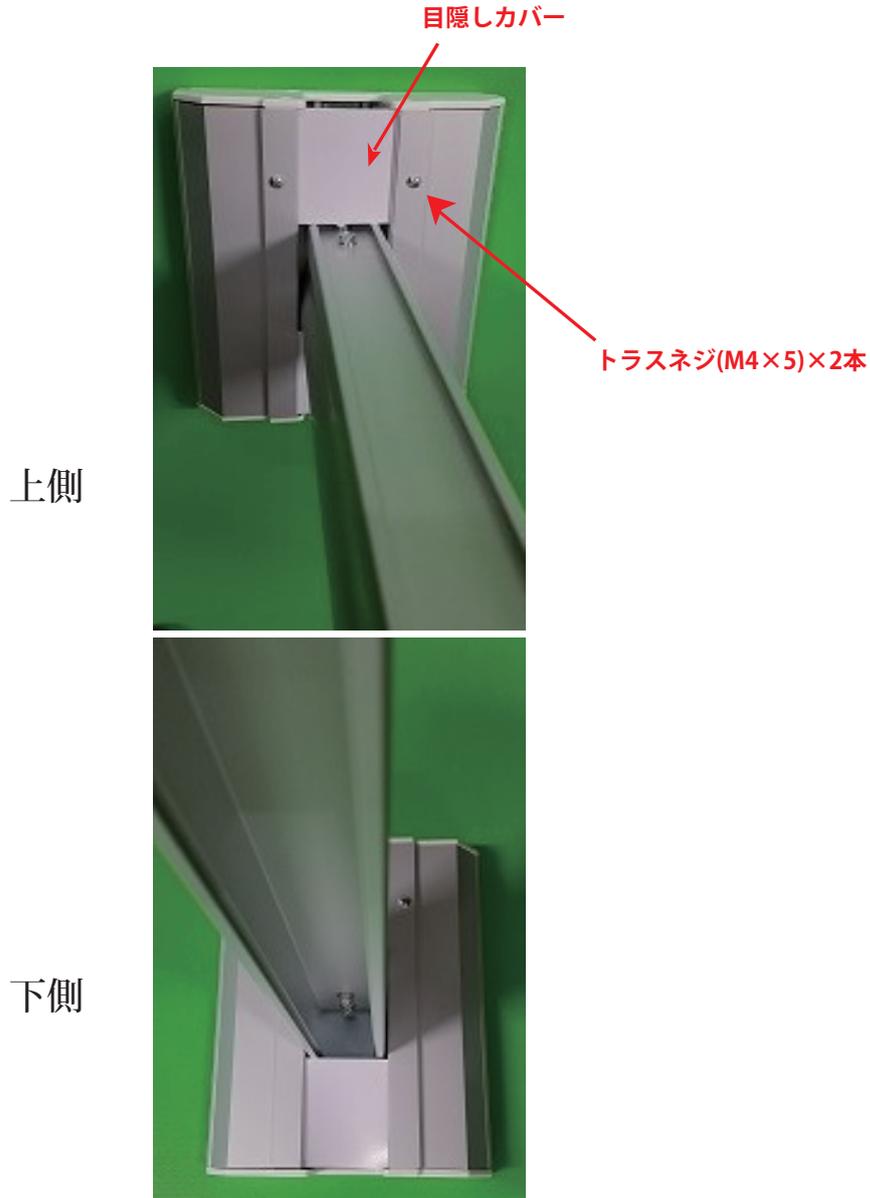


(3) ケーブル落下防止の為に、ケーブル落下防止金具を図のように2ヶ所（プラスチックカバーの両外側）挿入し、止めてください。



目隠しカバーの取り付け

- (1) 壁付けベースの左右のカバーをトラスネジ(M4×5)で固定してください。
アームの上下部分に目隠しカバーをはめてください。
(アームの位置に合わせて目隠しカバーをカットして使用してください)



取扱説明書について

この「取扱説明書」を汚されたり、紛失された場合は、販売店までご連絡いただき、内容を確認の上、ご請求ください。
この製品を譲渡される場合は、必ず次の所有者にこの説明書を添付して譲渡してください。

保 証 書			保証期間	1年間
品名・形式	PJH-SW	販売店	ご購入日より	
お名前		ご住所 〒	ご購入日	
お客様			ご連絡先	

20221128

KIC 株式会社 ケイ アイ シー
KIC CORPORATION

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-28-11
TEL 03-3357-4839 (代)
<https://kic-corp.co.jp/>

販売店名